



としょだより

令和2年 5月
細谷小学校 図書室

さわやかな風が吹き、過ごしやすい季節となりましたが、コロナウィルスの影響で休校が続いています。週に一度ですが、図書室でみなさんの元気な顔を見るとほっとします。

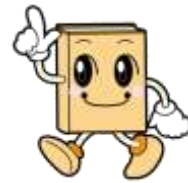
毎日、家ではどのように過ごしていますか？一生懸命、宿題に取り組んだり、のんびりと過ごしたりと様々だと思います。生活のリズムもくずれがちかもしれません。昼間の空き時間を読書の時間として、少しでも時間のリズムを体に刻んでください。

今は、できないことが多くがまんの時ですが、おうちでできることを探してチャレンジする良い機会もあります。今までむずかしそうで読んだことのないような本を読んだり、普段から疑問に思っていたことを調べてみるなど、じっくり読書にもチャレンジしてみてください。



題名	『きょうりゅうのおおきさつてどのくらい？』	『マララのまほうのえんぴつ』
作者	おおしま 英太郎	マララ・ユスフザイ
	きょうりゅうの大きさをどのくらいだろう。いろいろな場所でくらべてみよう。	史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララさんの自伝。女性の教育問題に関心をもち、言葉で世界にうったえかけた物語。

としょしつ すずきせんせい ほん 図書室の鈴木先生のおすすめの本



ちゅうがくねん こうがくねん
中学年～高学年

なが やす りょう ほん しょうかい
長いお休みを利用して、みなさんに読んでほしい本を紹介しします。



ていがくねん ちゅうがくねん
低学年～中学年



題名	『槍ヶ岳山頂』	『マッチ箱日記』
作者	かわはた 誠	ポール・フライシュマン
	5年生の男の子が親子で北アルプスの槍ヶ岳山頂を目指します。壮大な絵で、まるで槍ヶ岳を目の前で見ているような気持ちになります。	移民だったひいおじいさんが、孫娘に語りかけます。字を読むことも書くこともできなかった。だから、マッチ箱にその日の悪い出を入れることにしたんだ。

題名	『おおきな きがほしい』	『きえた犬のえ (ぼくはめいたんてい)』
作者	さとう 佐藤 さとる	マージョリー・W・シャーマット
	おおきな木がほしいさとる。その木は 幹に部屋があつたり 見晴台があつたり。かおるの想像力にびっくりしますよ。	さあ、すいりの時間です。9さいのネートはたんていです。ある日、仲良しの女の子からなくなった絵をさがしてほしいと いらいがきます。はたして、絵は見つかるのかな？



※ おうちの方にオススメ ※
『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
フレディーみかこ：著
優等生の「ぼく」が通う元・底辺中学は、毎日事件がおこります。人種差別や貧富の差、アイデンティティなど悩みは次から次へと…。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子と著者である母が、ともに考え悩み乗り越えていきます。